

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)										
事業名	卓越した大学院拠点形成支援補助金			担当部局庁	高等教育局			作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度・平成25年度			担当課室	大学振興課大学改革推進室			大学振興課長 里見 朋香		
会計区分	一般会計			政策・施策名	個性が輝く高等教育の振興 IV-1 大学などにおける教育研究の質の向上					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	第2次大学院教育振興施策要綱(平成23年8月5日文部科学大臣決定) 科学技術基本計画(平成23年8月19日閣議決定)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	卓越した大学院の教育研究拠点に対し、博士課程学生が研究に専念するために必要な経費を支援し、優秀な学生を惹きつけ、世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進する。									
事業概要 (5行程度以内。別添可)	○客観的な指標に基づき、優れた実績を持つ専攻・専攻群を対象とし、当該拠点を有する大学を支援する。 ○優秀な学生が教育研究活動に専念する環境を構築するために必要な経費(リサーチ・アシスタント(RA)経費等)を支援する。 【補助率:定額補助】									
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託・請負 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他									
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況		当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
			補正予算	-	-	-	-			
			繰越し等	-	-	△ 184	184			
			計	-	-	7,817	7,414	0		
	執行額		-	-	7,631					
	執行率(%)		-	-	97.6%					
	成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (28年度)
生活費相当額程度を受給する博士課程学生数			成果実績	人	-	-	調査中	博士課程(後期)在籍者の2割 (※参考 平成24年度博士課程(後期)学生数74,316人)		
			達成度	%	-	-	-			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	採択大学数			活動実績 (当初見込み)	件	-	-	24	—	
					-	(-)	(-)	(24以上)		
	採択大学においてRAとして雇用される博士課程学生数			活動実績 (当初見込み)	人	-	-	調査中	—	
				-	(-)	(-)	(前年以上)			
単位当たりコスト	317,302(千円/件)			算出根拠	単位当たりコスト =平成24年度執行額(7,615,237千円)/採択件数(24件)					
平成25・26年度予算内訳	費 目		25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由					
	研究拠点形成費等補助金		7,200百万円	-						
	審査・評価等経費		27百万円	-						
	研究拠点形成費等補助金事務費		3百万円	-						
計		7,230百万円	-							

事業所管部局による点検						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	本事業は、「科学技術基本計画（平成23年8月閣議決定）」を踏まえた世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進するものであり、国が実施すべき優先度が高い事業である。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			○	・本事業は、博士課程学生の学修研究に専念させる環境を整備するため、客観的な指標等に基づき優れた実績を持つ博士課程の専攻等を有する大学を選定しており、公平性・公正性を確保している。 ・補助金を交付する際は、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するなど、コスト削減に努めるとともに、経費の執行に関しては、事業年度毎に各大学から提出される実績報告書等において、支出先・使途を把握し、補助金の使用状況や事業目的との整合性について確認を行っている。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			○		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			○		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			○		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			○		
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			○	本事業は、国公立大学を通じて、客観的な指標に基づき優れた実績を持つ専攻等を有する大学を選定・支援しており、世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進するために十分な活用がなされ、効果的な事業実施を行っている。	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			○		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			○		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
	—	—	—			
点検結果	・本事業により、科学技術基本計画（平成23年8月閣議決定）を踏まえた、優秀な学生を惹きつけ、世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進することが期待される。 ・補助金を交付するに際して、事業経費の費目・使途の内容について厳正に確認するとともに、経費の執行に関しては、実績報告書等において、支出先・使途を把握することにより、各大学において補助目的に沿った適正な事業実施がなされているか確認している。 ・限られた予算内で効果的に補助を行うため、教育研究活動の実績の評価を行ったうえで、当該評価に基づくメリハリある補助を行っている。					
外部有識者の所見						
本事業においては、卓越した教育研究拠点としての実績を持つ24大学を採択し、博士課程学生がRAとして雇用されるなど研究に専念できる環境づくりに向けた成果が上がっていると認められる。 しかしながら、より効果の高い事業とするため、今後は、優れた研究者の養成に向けて、RAとして雇用される博士課程学生を増やすとともに、海外インターンシップや海外留学などといった学習環境の更なる充実を図っていくよう検討すべきである。						
行政事業レビュー推進チームの所見						
事業全体の改善の抜本的	1. 事業評価の観点：本事業は、卓越した大学院の教育研究拠点に対し、博士課程学生が研究に専念するために必要な経費を支援し、優秀な学生を惹きつけ、世界で活躍できる研究者を輩出する環境づくりを推進する補助事業であり、事業成果等の観点から検証を行った。 2. 所見：本事業は、平成25年度当初予算で予算の縮減を図ったところであるが、引き続き事業成果の検証を行うなど内容を精査し、新たな事業に向けて再構築を図るべきである。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
廃止	当該事業は、博士課程学生が学修、研究に専念するための環境整備をより効果的・効率的に推進していくため、平成25年度をもって廃止し、今後の取組に向けた事業内容を検討する。					
備考						
○事業URL http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/takuetsu/index.htm						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	新24-0006

文部科学省
7,631百万円

諸謝金 0.1百万円
旅費 0.5百万円
庁費 0.03百万円

を含む。

卓越した大学院の教育研究拠点に対し、博士課程学生が研究に専念する環境を整備するために必要な経費を支援し、優秀な学生を惹きつけ、世界で活躍できる研究者を輩出するシステムを構築できるよう支援。

【補助】

A.大学
7,615百万円(24大学)

卓越した大学院の教育研究拠点において、博士課程学生が研究に専念する環境を整備するために必要な経費を支援し、優秀な学生を惹きつけ、世界で活躍できる研究者を輩出するシステムを構築する事業を実施。

【公募・補助】

B. (独)日本学術振興会
15百万円

(審査・評価等業務を実施)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

※表示単位未満四捨五入の関係で積み上げと合計は一致しない。

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.東京大学			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
物品費	非接触型注視点追跡システム等	1,043			
人件費・謝金	TA経費、RA経費、事務補佐員、講演謝金等	312			
旅費	国内旅費、海外旅費、外国人招聘旅費等	141			
その他	印刷製本費、会場費、通信運搬費等	116			
計		1,612	計		0
B.(独)日本学術振興会			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	事務担当職員、派遣職員	8			
委員手当	委員会、分野別審査等	3			
旅費	委員会出席旅費等	2			
その他	印刷製本費、会場費、通信運搬費等	2			
計		15	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	東京大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	1,612	－	－
2	京都大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	1,423	－	－
3	大阪大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	874	－	－
4	東北大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	728	－	－
5	早稲田大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	465	－	－
6	東京工業大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	400	－	－
7	北海道大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	385	－	－
8	九州大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	269	－	－
9	総合研究大学院大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	249	－	－
10	名古屋大学	卓越した大学院拠点形成支援事業を実施	208	－	－

B.

※補助事業

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(独)日本学術振興会	審査・評価業務を実施	15	－	－